

平成 22 年度 行政評価の実施結果
(公共施設の管理運営)

平成 23 年 3 月

浜田市

目次

1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1P

(1)はじめに

2 平成 22 年度の評価方法等・・・・・・・・2P

(1)一次評価(担当課の自己評価)

(2)二次評価(外部委員を含めた行政評価委員会による総合評価)

3 平成 22 年度の評価結果・・・・・・・・5P

・総括表

・二次評価 集約結果

・行政評価票 (施設ごとの個表) <<別冊>>

(参考) 行政評価制度の説明・・・・・・・・25P

(1)行政評価の推進

(2)行政評価とは

(3)実施方法

(4)過年度の実施結果

1 はじめに

(1)はじめに

行政評価は、費用対効果の高い市政を実現するため、「市民にとっての効果は何か」、「当初期待したとおりの成果はあがっているか」等といった視点で、市の事業を評価検証する制度です。

当市では、担当課による一次評価を行った後、行財政改革推進委員会から選出された市民・識見者及び庁内委員で構成する「行政評価委員会」によるヒアリング（二次評価）を行っており、これまで「事務事業の見直し」や「補助金の見直し」に取り組んできました。

平成 22 年度は、「浜田市公共施設見直し指針（平成 20 年 8 月）」の策定等を踏まえ『施設の管理運営』を行政評価のテーマとしました。

浜田市が管理する公共施設（既に運営方針が定まっているもの等を除く）を対象に、公民館・集会所、レクリエーション施設、社会教育施設といった施設種別を設定し、全 313 施設の一次評価を実施しています。

また、二次評価については、上述した施設種別のうち「産業振興施設」など 32 施設を対象に、外部委員を含めた行政評価委員会によるヒアリングを実施し、総合評価を行いました。

この行政評価委員会による総合評価は、直ちに市の方針決定となるものではありませんが、この結果を尊重し、施設の管理運営について、計画的な見直しに取り組めます。特に、「廃止」や「譲渡」など「現状のままでも存続すべきではない」などの評価を受けた施設は、改めて、より効率的、効果的な施設運営について検証を行い、浜田市としての運営方針を決定し改革に取り組んでまいります。

なお、残る施設についても今後 3 か年程度をかけて二次評価を実施してまいります。

2 平成22年度の評価方法等

(1)一次評価(担当課の自己評価)

担当課による評価票の作成 8月～12月 (313施設)

種別	施設	種別	施設
01 公民館・集会所	84	05 教職員住宅	18
02 社会福祉施設	44	06 スポーツ施設	53
03 産業振興施設	30	07 文教施設	17
04 公園	62	08 その他	5

行政評価票(施設の管理運営) 整理番号 98

施設名: 旭温泉あさひ荘 棟数計上: 19937

所在地: 浜田市旭町木田954番地3 担当課: 産業経済 産業課

日付: 旭温泉を活用し市民の福祉の向上・健康の増進及び大衆浴場としての利用を図る。 管理形態: 直営 852～H21

設置条例: 旭温泉あさひ荘条例 法人福祉法第15条第5項 建築年度: S52

I 施設の基本的事項

事業内容: 入浴者の入浴利用の促進及び常時受付、入浴者の体調対応及び常時受付あさひ荘の日常清掃、週1回浴槽・浴室清掃(1ヶ月ごとの売上精算)

施設区分: 大衆浴場

施設内容: 【構造-給】鉄筋コンクリート造2階建。【敷地面積】3578㎡。【建物面積】1750.50㎡。【工務所業者】市

利用対象者: 市民及び大衆浴場利用者 60,180人 利用者H1: 15,150

料金体系等: 大浴料:大人300円(回数券11枚3,000円)、小中学生150円(回数券11枚1,500円) 利用者H8: 14,898
 使用料:4時間まで900円(4時間超過ごとに200円) 使用料+休憩料1人当り200円 利用者H9: 16,135

施設職員(人): 常勤 0人 嘱-パート: 3人 利用者H20: 16,712
 (うち市職員)正職: 0人 嘱: 3人 利用者H21: 21,373

代替・類似施設の有無: 民間施設しろつ荘・ホテル川崎・かくれの重なりがあり、浴槽・日帰り入浴が出来る。

II 事業コスト、事業成果 注:

単位:千円	H19	H20	H21 (収入)	備考	購置費用(千円)
利用料等	5,517	8,325	7,073	施設運営に係る経費(人件費を含む)を誰が負担しているか	合計 155,801
固定管理料	0	0	0		一般財源: 19,881
市補助金	0	0	0	利用料等...施設利用者	国庫支出金: 13,490
市委託金	0	0	0	固定管理料...浜田市	国債: 59,000
その他	0	0	0	市補助金/委託金...浜田市	その他: 13,490
収入合計	5,517	8,325	7,073	その他...国庫	
光熱水費	5,328	5,814	4,562	(支出)	H21利用率(利用者/対象者)
委託費	607	755	552	施設を運営するには、どのような経費(人件費を含む)がかかるのか。	0.36 割
人件費	4,758	4,742	4,809		H21受益者負担率(利用料等/支出合計)
その他	1,304	2,792	1,807		58.4 %
支出合計	11,997	14,121	12,130		

大規模修繕: H22～H27 改修: H22～H27 H26旭温泉再整備事業に改修予定

施設設置の経緯:

III 事業評価(一次評価・担当課による自己評価) (総合評価・行政評価委員会)

必要性: 施設の設置目的や社会的ニーズが時代に合致している。
 収益事業(法人税法施行令第5条1項)を主たる業務としていない。
 市内に民間を含め、類似施設がない。
 食館、宿泊施設、会議場、健康増進施設、総合保養施設その他これらに準ずる施設ではない。

効率性: 利用者が増加している。
 収支バランスや「負担の公平性」の観点から、適切な受益者負担(使用料等)が設定されている。
 現在の施設運営が、市民サービス-事務処理-コスト(人件費等)の点から最も効率的である。

一次評価: **存続** 旭温泉再整備事業まで継続

総合評価:

(2)二次評価(外部委員を含めた行政評価委員会による総合評価)

行政評価委員会によるヒアリング 12月～2月 (32施設)

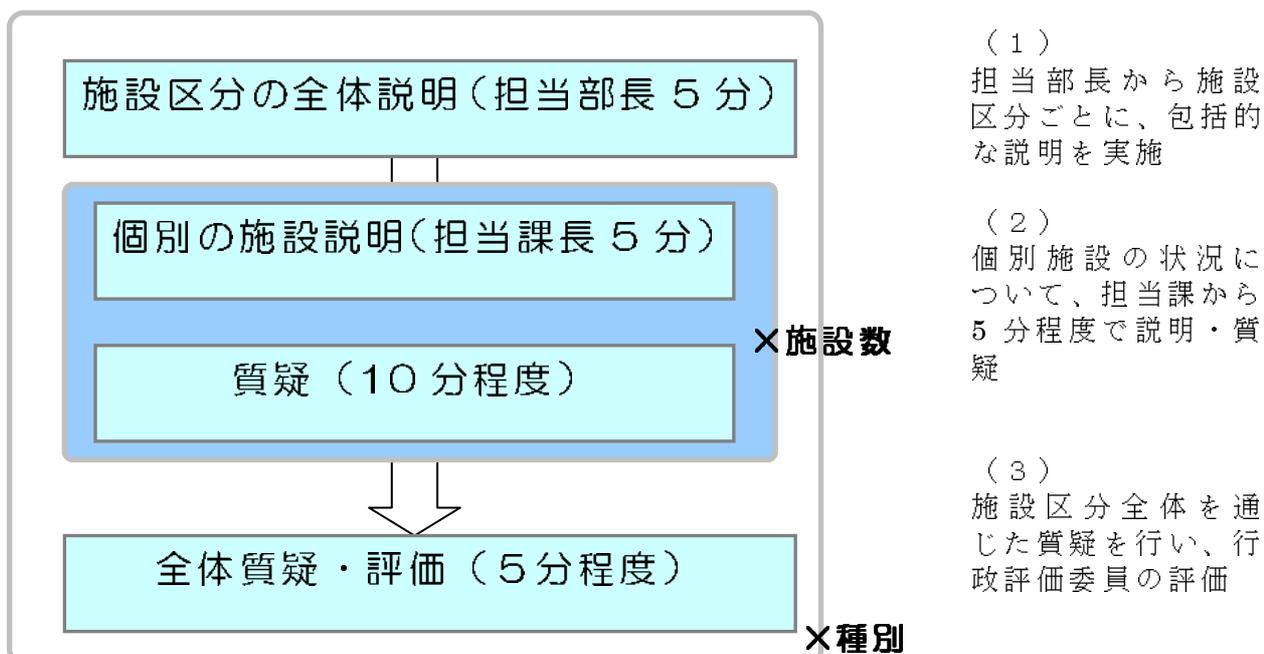
○「宿泊・レクリエーション施設」及び「公衆浴場」	12施設
○「産業振興施設」及び「和紙会館」	13施設
○「市場」	1施設
○「体験農園」	2施設
○「泉源」	4施設

*「公衆浴場」は種別02社会福祉施設に区分されています。

行政評価委員会(外部委員は行財政改革推進委員会から選出)

外部委員 9人	島根県立大学教授、浜田金融会、女性ネットワーク、公募委員
庁内委員 5人	企画財政部長、総務部次長、管財課長、財政課長、総合調整室長

評価方法



評価の視点

評価の視点 公的関与の必要性（そもそも公費負担の必要があるのか）

- ・法令により、または市の重要な施策として必要な施設であるか
- ・同様・類似のサービスを提供する民間等の施設で代替できないか。
- ・施設の設置目的や社会的ニーズが希薄化していないか。
- ・施設の将来性はどうか（再投資の是非）

評価の視点 施設運営の効率性（運営管理の方法はどうか）

- ・市が実施主体となることは妥当か（利用状況、費用対効果、効率性）
- ・公費負担と受益者負担の割合は適切か(施設利用しない市民も納得できるか)
- ・投資に見合う効果があるか

評価基準

存続	・存続施設(見直し) 運営主体、方法の見直しなど、更なる経営努力を必要とする施設も含む
統合	・類似施設との統合 競合関係にある施設が存在する、設置意義等が希薄化した施設
転用	・他用途への転用、機能追加 利用率が低い施設など
譲渡	・民間(地域団体を含む)譲渡 主として一部の住民に利用活用される施設など
廃止	・休止、廃止 「民間と競合する公的施設の改革について」に明記された施設など



公設（行政関与）の意義（大）

公設の意義（小）

3 平成 22 年度の評価結果

総括表(評価順)

評価日	評価順	区分	ID	施設名	担当課評価	総合評価
H22年 12月20日	1	公衆浴場	96	旭温泉あさひ荘	存続	存続
	2	宿泊レクリエーション施設	97	簡易宿泊所あさひ荘別館	存続	廃止
	3	宿泊レクリエーション施設	101	浜田市都川交流促進施設	存続	譲渡
	4	宿泊レクリエーション施設	102	天狗石農村公園	存続	譲渡
	5	宿泊レクリエーション施設	273	若生まなびや館(交流施設)	存続	譲渡
	6	宿泊レクリエーション施設	131	森の公民館	存続	存続
	7	公衆浴場	122	美又温泉会館	存続	存続
	8	宿泊レクリエーション施設	133	美又温泉国民保養センター	存続	存続
	9	宿泊レクリエーション施設	132	かなぎウェスタンライディングパーク	存続	廃止
	10	宿泊レクリエーション施設	130	リフレパークきんたの里	存続	存続
	11	宿泊レクリエーション施設	156	国民宿舍千畳苑	存続	存続
	12	宿泊レクリエーション施設	169	ふるさと体験村	存続	存続
H23年 2月17日	13	産業振興施設	98	梨集出荷施設	譲渡	譲渡
	14	産業振興施設	412	浜田市地域交流プラザ	存続	存続
	15	産業振興施設	163	農産物集出荷貯蔵施設	譲渡	譲渡
	16	産業振興施設	164	地域資源循環活用施設	譲渡	譲渡
	17	産業振興施設	166	弥栄肉用牛改良流通センター	譲渡	譲渡
	18	産業振興施設	161	弥栄農産物処理加工施設 第1工場	譲渡	譲渡
	19	産業振興施設	162	弥栄農産物処理加工施設 第2工場	譲渡	譲渡
	20	産業振興施設	165	実践研修生滞在施設	存続	存続
	21	産業振興施設	167	間伐材等地域材研究施設	存続	存続
	22	体験農園	170	体験農園施設	譲渡	譲渡
	23	市場	157	浜田市公設水産物仲買売場	存続	存続
	24	産業振興施設	123	農畜産物加工施設	譲渡	譲渡
	25	産業振興施設	125	波佐地場産業技術研修センター	存続	譲渡
	26	産業振興施設	152	三隅中央会館(2)和紙の郷	存続	存続
	27	産業振興施設	141	三隅特産品展示販売センター	存続	存続
	28	体験農園	149	井野児童農園	存続	転用
	29	泉源	95	旭温泉(源)	存続	存続
	30	泉源	115	美又温泉美又1,2,3,4号井	存続	存続
	31	泉源	116	湯屋温泉(源)	存続	存続
	32	泉源	117	波佐小国温泉(源)	存続	存続

	担当課評価	総合評価
存続	24	17
統合		
転用		1
譲渡	8	12
廃止		2
合計	32	32

